

歯科材料 8 歯科用石膏及び石膏製品

\*\* 一般医療機器

歯科高温鑄造用埋没材

「JMDN」70900020

## ラピッド セット

### 【形状・構造及び原理等】

#### 〔構成〕

粉剤及び専用液（C液、D液、E液）

#### 〔原材料〕

粉剤 エチルシリケート

石英

他

液剤 C液 希塩酸、他

D液 コロイド珪酸、エチレングリコール、他

E液 エチルシリケート

#### 〔原理〕

鑄造をする際の鑄型となるもので、エチルシリケート系の埋没材のため鑄型温度は高温になり、その為、融点1,300～1,400℃のコバルトクロム合金、ニッケルクロム合金等の鑄造に用いることが出来ます。

### \* 【使用目的又は効果】

無水ケイ酸、アルミナ、マグネシア、りん酸塩、コロイダルシリカ、エチルシリケート、石こう等を主成分とする鑄造用埋没材をいう。

### \* 【使用方法等】

- ① C液を空のガロンボトルにあげ、C液の容器に水を入れ、良く振り、C液を入れたガロンボトルに入れます。更にガロンボトルに水をつぎ足し、D液、E液のガロンボトルと同じ量にします。
- ②最初に調合瓶にE液を容量比2の割合で注ぎます。次にC液を容量比1の割合で加えます。調合瓶の蓋をしっかりとかめ、激しく振り、E・C液を混和します。
- ③調合瓶の蓋をゆるめ、内部の圧力を抜きます。こうして圧力を抜き再び激しく振り、E・C液の温度が60℃に達するまで混和します。
- ④次にC液を容量比1の割合で加え軽く振り混ぜます。

⑤続いてD液を容量比2の割合で加え、軽く振り混ぜます。

⑥調合が完了した時点で、流水中で冷やし、20℃まで調合液の温度を下げます。

⑦通法に従って埋没を行います。専用液で良く混和した本埋没材を、パイプレーターの上で流し込みます。埋没材が充分注入されるまでパイプレーターはかけ続けて下さい。浮き上がってくる液は流し取るようにします。

### 【使用上の注意】

- ①本埋没材は、専用液（C液、D液、E液）を使用すること。
- ②真空埋没は避けること。
- ③使用の際は、局所吸塵装置、防塵マスク、保護めがね、手袋等を使用すること。
- ④皮膚についたり、目に入らないよう注意すること。万一、皮膚についたり、目に入った場合は大量の流水で少なくとも15分間程洗浄し、専門医の診断を受けること。
- ⑤液を調合する際は、密閉した部屋での作業を避け、混和により発生するガスを吸飲しないこと。
- ⑥調合した液は20℃で使用すること。

### \* 【保管方法及び有効期間等】

- ①室温にて保管すること。
- ②歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

### \* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者名：株式会社 茂久田商会

緊急連絡先：TEL 078-303-8248

FAX 078-303-2151

製造業者名：シーエムビー社／アメリカ

CMP Industries LLC / USA